

KIJIMA ORIGINALPARTS TECHNICAL SERVICE MANUAL



HONDA 2021y～ レブル 1100 ・ DCT

LED フォグランプ KIT

<商品番号：205-6160A(白)/6160AY(黄)>

【取扱説明書】



注意

取付け前に必ずお読みください。

作業時間：1.0h

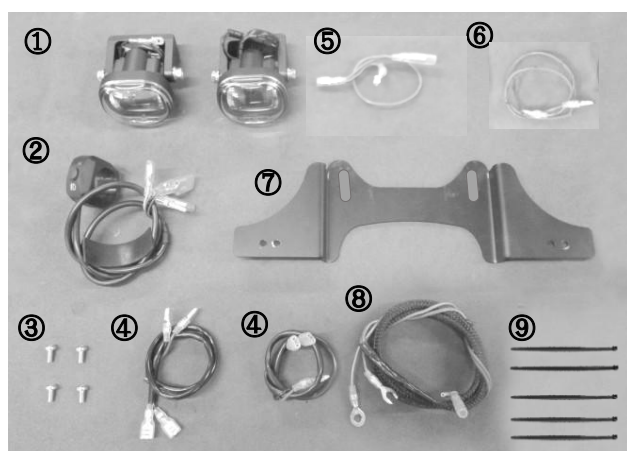
このたびは、当社製商品をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品は以下のことをご理解のもと作業していただきますようお願い申し上げます。
作業にあられる方は本体車両メーカーのサービスマニュアルに準ずる知識及び技術を持った方に限ります。

- ・取付け前に商品構成の内容を必ずご確認ください。
- ・道路交法・道路運送車両法を厳守する。
- ・運行前点検及び、定期的な保守整備を行う。
- ・本取付け説明書に則った取付けを行う。
- ・本製品への加工を加えない。
- ・不具合が発生した場合速やかに使用を中止する。

以上の事柄を必ずお守りください。

万が一、商品に不備があった場合は、取付けを行わないでください。
上記が守られていない場合、商品への保証は一切いたしません。
また、株式会社キジマは本製品にのみ責任を持つものであり、本製品の品質以外（修理費、取付工賃等）どのような事柄に対しても責任を負いかねますのでご了承ください。

《部品構成内容》



部番	品名	個数
①	LED フォグランプ	2
②	フォグランプスイッチ（ゴム板不使用）	1
③	ボタンキャップボルト M5×10	4
④	フォグランプハーネス	2
⑤	ACC分岐ハーネス	1
⑥	オス変換ハーネス 600mm	1
⑦	メインステー	1
⑧	延長ハーネス	1
⑨	タイラップ 180×4.5W	5

①6160A(ホワイト発光)/6160AY(イエロー発光)

製品取付けに当たっての注意点

- ※ 本製品は、HONDA 2021y～ レブル 1100・DCT (8BL-SC83 / SC87) に適合します。(T / Sを除く)
- ※ 本製品は、消費電力 [18W (白) / 14.8W (黄)] が高い為、長時間のご使用や電装品の併用状況によりバッテリーが消耗しやすくなります。バッテリー電圧管理を通常使用時より、こまめにメンテナンスしてください。
尚、グリップヒーター及び USB チャージャー等を併用される場合は、温まらない等の不具合が起きる場合がある為、フォグのスイッチを切るか電源を取る場所の変更又は、容量の大きいバッテリーに変更等の対策を行ってください。
- ※ 本製品は、弊社製 エンブレムステー (208-3098) 又は フェアリング KIT (305-479) と併用が可能です。
- ※ 本製品のフォグランプ内部が曇る場合がありますが、不具合ではありません。走行風を当てると解消します。
- ※ 純正部品の取外し/取付け、ボルト/ナットの締め付けについては、メーカー発行の取扱説明書に基づいて、確実に行ってください。必ずメインキーをOFFの状態で行う事。また作業中に車体が倒れたりして危険ですので、水平な場所で車体を安定させて行う事。
- ※ 安全快適なライディングの為に、定期的に増し締めなどの点検整備を必ず実施してください。
- ※ 説明書は大切に保管し、本製品を譲渡などする場合は説明書も一緒にお渡しください。

<取付け方法>

※本文中や図中に出てくる丸囲み数字は前ページの部品構成内容表の部番に対応しています。

☆取付け方法は、2021 y の D C T 車での説明となります。2025 y モデルはメーター廻りが違います。☆

※作業するにあたり、バッテリー直で製品を接続し正常に作動する事を確認してから作業を行ってください。
そして、必ずバッテリーのマイナス端子を外した状態から作業を行ってください。



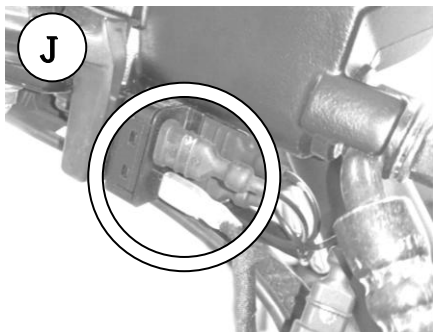
- 1、シート/ボルト/クリップを外し、バッテリーカバー/右側サイドカバーを取外します。(写真A/B参照)
- 2、ボルトを外し、タンク下のカバーを取外します。
- 3、延長ハーネス⑧/オス変換ジョイント⑥を這わせて、タンク下からシート下まで這わせ、タイラップ⑨で仮固定します。(写真C参照)



- 4、ボルトを外し、メーターバイザーを取外します。(写真D参照)
- 5、フォグランプスイッチ②をハンドルに固定します。※付属ゴム板は使用しません。(写真E参照)
- 6、スイッチ②配線を這わせて、タイラップ⑨で仮固定します。(写真F参照)



- 7、ボルトを外し、ヘッドライトとメインステー⑦を共締め固定します。(写真G参照)
※ハンドルを切った際に干渉が無い位置にステー⑦を前後の調整をして固定してください。
- 8、メインステー⑦にフォグランプ①をボルト③で固定します。
※フォグランプ①のクランプが一部反対側に装着されている場合には、向きを写真の向きに変更してください。
- 9、フォグランプ①にフォグランプハーネス④を接続します。(写真H参照)
※端子部の一部がむき出しになる為、必ずビニールテープ等で絶縁処理を行ってください。
- 10、スイッチ②を車両に這わせハーネス④に接続し、タイラップ⑨で固定します。
- 11、延長ハーネス⑧をバッテリーに接続します。(写真I参照)
※延長ハーネス⑧のビニールチューブが長くバッテリーに届かない物がある場合があります。その場合、接続しやすい長さにビニールチューブをカットしてください。



< 装着イメージ >

光軸の調整方法 ※縦方向のみ



※側面のボルトを緩め、角度の調整後、再度ボルトを締めつけて下さい。

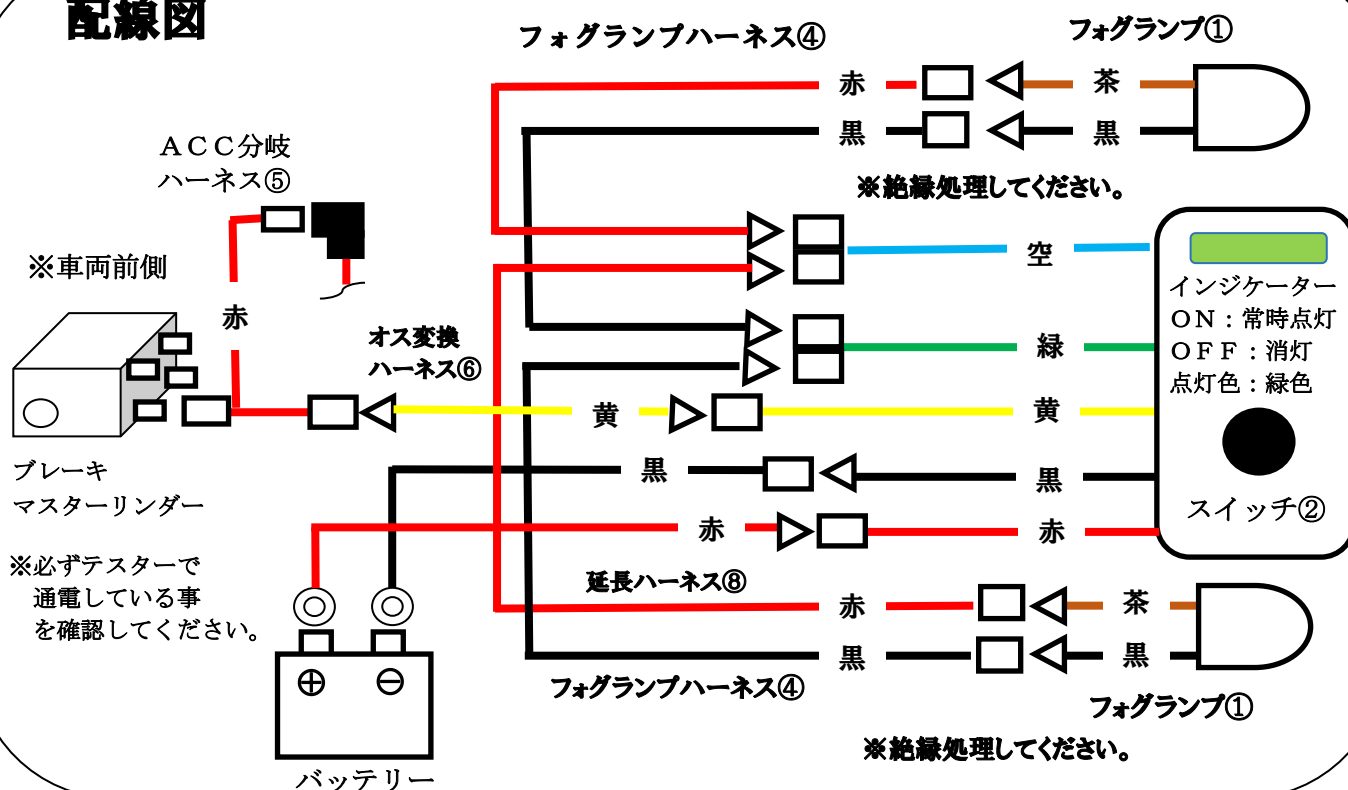
12、ブレーキ SW の前側の一番下の所の間に ACC 分岐ハーネス⑤を接続しオス変換ハーネス⑥を接続します。 (写真 J 参照)

※接続前に必ず、テスターで通電している事を確認してから接続してください。

13、点灯確認を行い、ハンドル切った時などに配線が引張り/断線/噛み込みなどしないように取回し、タイラップ⑨で本固定し、余分な部分をカットします。

14、カバー類を取外しと逆の手順で組み戻して完了です。

配線図



< 取付け後は下記の点についてご確認ください >

※配線は、ハンドルを切った際に配線が絡まない/噛み込まない様に取り回しを行ってください。

※配線が噛み込むと断線する為、注意して配線を取り回してください。

※配線は、配線チューブやセルフラップスリーブを使いまとめるときれいに結線できます。

※配線をタイラップ等で走行中に配線が絡まないように固定してください。

※点灯確認する際は、純正以外の電装品がある場合は、なるべく接続を外して確認してください。

点灯しない場合は、結線やバッテリーの状態や純正以外の電装品を外してのチェックを行ってください。

※結線のチェック等でメインキーオンの状態で接続を外さず、メインキーオフの状態で作業を行ってください。

モーターレク総合開発メーカー

株式会社

キジマ

MOTORCYCLE PARTS&ACCESSORIES KIJIMA co.,ltd.

www.tk-kijima.co.jp

〒123-0841 東京都足立区西新井 4-16-3 TEL. 03-3897-2167 FAX. 03-3897-2138